



「安心・安全な学校」と「持続可能な環境づくり」に向けて

校長 森一展

梅雨の最中、台風の影響もあり雨の日が多くなった季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解と多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、令和5年9月8日、文部科学省より「教育現場における働き方改革の推進等に向けた緊急提言」が通知されました。この提言では、①学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進、②学校における働き方改革の実効性の向上等、③持続可能な勤務環境等の支援の充実、という3つの柱が明示され、校長がその権限と責任を踏まえて適切に対応できるよう、必要な指示や支援に努めることが求められました。特に「業務の適正化」においては、従来の慣習にとらわれない見直しと、早期の改善を進めることが指示されました。

さて、本校教職員の正規の勤務時間は8時30分から17時であり、その内45分間が休憩時間となっております。しかしながら、実際には、授業の準備や宿題の点検、児童の安全確保等により、休憩時間であっても「仕事を離れて一息つく」ことが極めて難しい実態があります。本校の教職員におきましても、「すべては児童のために」という強い使命感から、日々の業務に全力で向き合い、どうしても頑張りすぎてしまう傾向にあります。しかしながら、限界まで頑張り続けた結果として心身の不調をきたしてしまうことは、教職員にとっても、そして何より子どもたちにとっても大きな問題となっています。「子どもたちが安心・安全に過ごせる学校づくり」のためには、「教職員が本来の仕事に取り組める環境づくり」が必要です。教師が心身ともに健康で、万全の態勢で日々の授業や子どもたちの見守りに向き合える環境があつてこそ、質の高い教育が持続可能になると考えております。

このような現状を踏まえ、本校におきましても、児童の安全確保と教職員の持続可能な勤務環境の双方を両立させるため、この7月より、まずは以下の取り組みを段階的に開始させていただきます。

○配信アプリ「tetoru (テトル)」を活用したペーパーレス化の推進

これまでプリントでお配りしていた各種お便りについて、段階的なペーパーレス化を進めてまいります。まずは第一段階として、この「学校だより」と「下校時間表」「行事予定表」のアプリ配信をスタートします。スマートフォン等からいつでもご確認いただけるようになります。

○留守番電話開始時刻の変更（18時から17時へ）

教職員が翌日の授業準備や児童と向き合うための業務に集中する時間を確保するとともに、それぞれの家庭や個人の生活（ライフワークバランス）も大切にしながら健康的に働き続けられる環境を整えるため、留守番電話の開始時刻を、従来の18時から「17時」に変更させていただきます。

【実施開始日：7月13日（月）より】

これらの見直しは、学校が本来担うべき「目の前の子どもたちと向き合う時間」をしっかりと生み出しより質の高い教育活動へと還元していくための一歩です。学校と家庭、そして地域の皆様が、互いに尊重し、信頼し合える関係をさらに深めながら、より良い深阪小学校を共につくっていきたいと考えております。子どもたちのより良い成長のため、皆様の温かいご理解とご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。